

# 令和5年度 学校評価 報告書

報告日
令和6年3月22日

幼稚園名	芦屋市立小槌幼稚園
園長名	池田 睦美

## 1 今年度の重点目標

- 心豊かに感じ、共に育ち合う幼児を育むための教育の推進
- 一人一人に寄り添った教育の推進
- 幼稚園や地域の特性を生かした子育て支援の実施

## 2 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

- ・教育評価に関する保護者アンケートを実施、集約し、保護者に周知した。
- ・重点目標に対しての取り組みは適切になされている。

## 3 学校自己評価結果

( A:十分達成している B:達成している C:概ね達成している D:達成していない )

No.	分野	重点	評価項目・取組状況	達成状況	改善方策
1	教育過程	1・2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の教育目標である「心も体もたくましい幼児の育成」に向けて、同志社大学の先生を講師にお招きし、運動遊びを通して、一人一人の成長やクラスとしての成長を育めるように、1年間継続して運動遊び(巧技台、鬼ごっこ)に取り組んだ。個々の運動能力に加え、友達と話し合いをしながら意欲的に遊びに取り組み、自分たちで課題を解決をして遊ぶ能力が身に付いてきた。</li> <li>・一人一人の内面や発達段階を理解し、保育が進められるように、園内研究会や公開園内研究会を通して、協議をしたり講師の先生から指導助言をいただいたりすることを通して、幼児の育ちにつながるように努めてきた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、一人一人の幼児の内面理解を様々な角度から捉えていくように努め、共に育ち合う幼児の育成につながるような環境作りや教師の援助を探り、年間を通して継続して研究を深めていきたい。</li> <li>・園内研究会を通して、発達段階に応じた援助や支援を学び、教師の資質を高めることで、幼児の育ちにつながるように努めていく。</li> </ul>
2	子育て支援	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のブログや園だより、写真の掲示等を通して、幼稚園教育の内容の発信に努めた。保護者会では、参観日での子どもの様子から、「こころわくわくシート」用いて、成長や育ちつつある姿を保護者同士が共有できるようにした。</li> <li>・週1回の園庭解放では、未就園児が園で遊び、保護者同士や園とのつながりがもてるように努めた。また子育てサークルの活動日や子育てひろばと日を重ねて、園児と一緒に触れ合って遊ぶ場やサッカー教室や木育活動等、園に来て遊びを一緒に楽しめるような場づくりに努めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育を分かりやすく発信する工夫をし、園と家庭とが連携がとれるように努めていく。</li> <li>・今後も地域の未就園児とその保護者が幼稚園を身近に感じ、親しみが持てるように、園の行事と重ね参加を呼び掛けるなど、発信をしていく。</li> </ul>

## 4 評価項目に係る学校関係者評価

学校自己評価結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月に実施した「教育評価アンケート」でも園の教育活動への高い評価を得ており、保護者の幼稚園への信頼が伺える。</li> <li>・教育評価アンケートの中で挨拶や手洗い、うがい等、基本的な生活習慣が身に付いたかどうかの項目については、他の間に比べ、「そう思う」より「少しそう思う」の回答率が高かった。今後、園と家庭とが一緒になって取り組んで行くことが大切である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に開かれた幼稚園として、他の就学前施設と連携したり未就園児も園の行事に参加できたりするような保育を行い、カリキュラムを工夫している。今後も特色ある園づくりを続けてほしい。</li> </ul>

## 5 総合的な学校関係者評価

- ・保護者の教育評価は具体的に丁寧を実施されており、園における教育活動の取り組みは良好である。今後も、家庭や地域との連携を大切にし、園の特徴を活かしながら、教育活動や内容を考え、工夫していくことを期待する。